

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ガーデンキッズトリア			
○保護者評価実施期間	令和7年12月8日	～	令和7年12月26日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和7年12月27日	～	令和8年1月9日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども達が楽しみながら学べるよう、活動にさまざまな工夫を取り入れています。	・毎月、活動のねらいや内容を検討し、お子さまが楽しみながら多様な経験ができるよう、職員間でアイデアを出し合って実践しています。 ・支援方法や改善事項など公認心理師、言語聴覚士、理学療法士等からの助言も取り入れています。	・引き続き、お子さまが楽しみながら学べるよう、興味を引き出す活動づくりや遊びを通じた学びの工夫、専門職の助言を生かした支援内容の改善を行います。
2	・定期的な面談や子育てに関する助言などの支援が提供できていると思います。	・定期的な個別相談に加えて、事業所からも保護者へ積極的なことばを掛け、面談の時間をつくるなど、気軽に相談できる関係づくりを大切にしています。日々の小さな変化も共有しながら、一緒にお子さまの成長を支えていけるよう心掛けています。	・保護者との信頼関係をより深めるため、日々の様子をこまめに伝えられる連絡体制の充実や、保護者が気軽に相談できる時間帯の設定など、相談しやすい仕組みづくりを行います。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・経験年数の浅い職員も在籍しているため、支援における気付きや支援力を高めるための育成体制が課題である。	・職員が専門的な知識を継続的に学び、支援経験を積み重ねていく必要がある。	・今年度より1～3年目の職員を対象とした研修を実施し、専門的な知識や支援技術の習得を計画的に進めています。さらに、日々のミーティングでの振り返りや自己研鑽の時間を確保し、セラピストからの助言を受けられる機会を増やすことで、職員が継続的に成長できる体制を整えます。
2	・保育所や認定こども園、幼稚園などとの交流や、地域のこどもたちと一緒に活動できる機会を増やすための工夫が必要である。	・保育所や幼稚園などの関係機関との交流や連携の機会が十分ではなく、日常的な情報共有や相互訪問を通じた顔の見える関係づくりが進んでいない。	・今後、事業所の支援内容や活動の様子を関係機関に理解していただくため、参観などの企画を進め、事業所の活動を直接見ていただける機会を設けていきます。まずは、日常的な交流を通じて顔の見える関係づくりを促進し、より協力しやすい連携体制の構築を目指します。
3			